



特定非営利活動法人 なんとなくのひろば 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail [info@nantonakuno.net](mailto:info@nantonakuno.net)



昨日降った雪がまだ日陰に残っています。居場所入り口の雪景色（1月25日）

## 「学びサポート」あれこれ

「子どもの居場所」は「報徳今市振興会館」を活動場所として、2004年に始まりました。市教委管理の歴史ある建物でしたが、2013年、取り壊しとなりました。跡地に歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館、日光市民活動支援センターが入る新館が建ち、現在の姿となっています。建て替えが決まった2012年秋には『報徳今市振興会館まつり』を企画し、お世話になった会館に別れを惜しみました。（通信30号に記事があります）

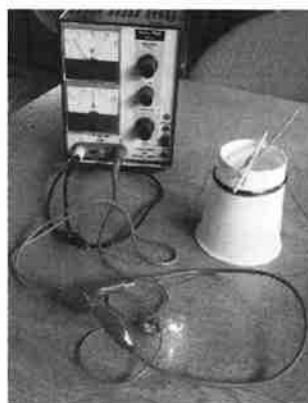
さて、「子どもの居場所」がまだ報徳会館にあった頃、保護者の方から、「居場所で過ごしたあと、子どもの学習援助をする時間を取れないだろうか」との相談がありました。居場所はその頃も今と同じ午後4時半に閉じていました。報徳会館の使用を5時過ぎまで延長することは、建物管理や火気の問題のため難しいと思いました。そこで報徳会館の隣にあり、会館の管理も行っていた「今市市民活動支援センター」に問い合わせたところ、「居場所を閉じたあと、こちらを利用してはいかがですか」との返事をいただき、会場は支援センターのホール、実施日は毎週金曜日、午後6時から9時までという設定で始まったのが「学びサポート」です。

「学び」といっても、「さあ、お勉強です」という雰囲気ではなく、気分が乗らないときは「ではゲームでも」…。支援センターにはテレビゲームの設備はないので、それぞれ持ち寄った、トランプ、花札、すごろく、かるたなどで遊んでいた時期もありました。保護者の方から麻雀セットを預かり、3人の簡単ルールで楽しんだことも。そんな「学び」も数年後には通信制高校に進学したメンバーが学校からのプリント課題を持ってくるとなり、いっしょに答えを考える時間が増えました。高校受験を控えた新たなメンバーが参加することもありました。その時期、参加者に応じた学びを心がけています。

居場所が報徳会館から平ヶ崎に移ってから、「学びサポート」は支援センターを会場に、金曜日の午後7時から9時まで（今は「緊急事態」のため午後6～8時）、数名の中学生在が宿題や問題集に取り組んでいます。スタッフは2、3人でそれぞれ

英語、歴史などそれぞれの得意分野で対応しています。

先日はある私立高校の入試問題（数学）が解けずに困りました。正方形をいくつかの線分で区切り、ある条件を与えてできるふたつの3角形の面積比を求める問題でした。補助線を引いて線対象の図形を考えればよいことに1日考えて気付きました。中学校図形の定番問題なのかもしれません。出題者の想定した通り道を見つけ、脇道に外れないよう効率よく通り抜けるのが受験問題のコツといいますが、面白そうな問題にぶつかるとテスト勉強から離れて（時間の制約を考えずに）解き方を探したり、問題をネタにあれこれ考えるのも楽しく、ついそちらのほうに力が入って大脱線となることもあります。



ときには、ミニ実験もやります。写真は理科の教科書にあった「紙コップ電流計」。コイルと直列に豆電球をつないでいるので、紙コップに乗せた針の振れ、電球の明るさの変化、電源装置の示す電圧・電流値を同時にチェックできます。晴れ上がった夜には、センター駐車場や今市小学校の校庭に出て星座を探すこともあります。ほぼ西に位置する男体山に向かい、それから90度右を向いて空を見上げると北極星が光っています。冬、北極星のさらに上には「おまえのガラスの水車／きつきとまわせ」と宮沢賢治が綴ったカシオペアの「W」が目にとまります。日周運動の水車は時計の針と逆に回るといえば、覚えてくれるかな…。

子育てを支援する他団体とも連携し、支援センターにも協力いただき、「学びサポート」の輪をこの地域に広げていけたらいいなと考えています。（手塚）

## 目次

学びサポート あれこれ	1
ワンボードマイコン@なんにわ	2
居場所利用のお願い	3
活動報告	3
こんな本はいかが・52	4

## 居場所のひとこま

「コロナ禍でウクレレが人気」だそうです。軽くて小さい、音も小さめなので、おうちで気軽に練習できるからでしょうか。はじめに練習する弦楽器として、指の負担が少ないウクレレはおすすめです。みんなで合奏できると楽しいね、ということでスタッフも練習しています。中学生のギターに合わせ、「チェリー」や「ちいさな恋のうた」など、（いまは歌なしで…）レパートリーも増えています。（N）

